

令和5年度（2023年度）

三重大学大学院教育学研究科
専門職学位課程 教職実践高度化専攻
入学試験問題（A日程）

学部新卒者等

筆記試験（小論文）

令和4年（2022年）8月16日（火） 試験時間：9：00～10：30

注意

1. 指示があるまで冊子を開かないでください。
2. この冊子は、表紙、問題用紙・解答用紙を含めて5枚です。試験開始後ただちに落丁、乱丁等の有無を確認し、異常がある場合には監督者に申し出てください。
3. 受験番号は、解答用紙上のそれぞれ指定された箇所に必ず記入してください。
4. 試験開始から試験終了までは、試験室からの退室を認めません。試験中の体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。
5. 解答用紙、問題用紙の両方を回収しますので、持ち帰らないでください。
6. その他、解答にあたっては、監督者の指示に従ってください。

問1

三重県では、「みえの食育」として、家庭・学校・地域における食育の推進に取り組んでおり、現在、令和7年度までの「第四次食育推進計画」を策定しています。三重県のウェブサイトには、下記のように食育の説明がなされています。

著作権の関係上、開示しない。

出典：三重県ホームページ（<https://www.pref.mie.lg.jp/common/03/ci400000550.htm>）

上記の能力を育むために、学校が家庭や地域と連携してどのように食育に取り組んだらよいと考えますか。具体的な連携先を1つ設定し、そこでの取り組み内容について600字程度であなたの考えを述べなさい。

問2

学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養が求められています。学ぶことの意味や意義を見出せないでいる幼児や児童生徒に対して、どのように対処すべきと考えますか。あなたの分野・教科等でのよくありそうなつまずき場面を1つ取り上げ、具体的な支援方法について600字程度で述べなさい。

令和5年度（2023年度）

三重大学大学院教育学研究科
専門職学位課程 教職実践高度化専攻
入学試験問題（A日程）

現職教員

筆記試験（小論文）

令和4年（2022年）8月16日（火） 試験時間：9：00～10：30

注意

1. 指示があるまで冊子を開かないでください。
2. この冊子は、表紙、問題用紙・解答用紙を含めて7枚です。試験開始後ただちに落丁、乱丁等の有無を確認し、異常がある場合には監督者に申し出てください。
3. 受験番号は、解答用紙上のそれぞれ指定された箇所に必ず記入してください。
4. 試験開始から試験終了までは、試験室からの退室を認めません。試験中の体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。
5. 解答用紙、問題用紙の両方を回収しますので、持ち帰らないでください。
6. その他、解答にあたっては、監督者の指示に従ってください。

問1 次の文章を読み、以下の設問(1)、(2)に、合わせて600字程度で答えなさい。

ベネッセ教育総合研究所の「第6回学習指導基本調査(2016)」では、小中高校教員に対して学習指導に関する教員の意識調査をおこない、以下のような結果を示している。

著作権の関係上、開示しない。

これらの回答から、小中高校教員いずれも「各教科の基礎的・基本的な知識・技能」がもっとも「身につけている力」であると回答しているにもかかわらず、「身につけさせたい力」も同様に「各教科の基礎的・基本的な知識・技能」である。本来なら、身につけていない力を身につけさせたいと考えるはずであるが、そうはなっていない。これら身につけていない力（枠線内）は、最新の学習指導要領でも「思考力・判断力・表現力等」と呼ばれており、「育むべき能力」として示されている。育成しなければならないいくつかの能力を、教員は優先して育成していない結果となっている。

設問(1) なぜ教員はこれらの能力（枠線内）を育成し（たがら）ないのか、その理由を考え、述べなさい。

設問(2) あなたが教壇に立った時、具体的にどのようなことを意識しながらこれらの能力（枠線内）を伸ばしていきたいか、詳しく述べなさい。

問2 「2020年代を通じて実現すべき『令和の日本型学校教育』の姿」として、「①個別最適な学び」と「②協働的な学び」が挙げられている（資料：令和3年1月26日付中教審答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」）。分野・教科等に関わるあなたのこれまでの取り組みのうち、①や②の実現に結びつくと考えられるものを具体的に示し、その有効性と課題について600字程度で述べなさい。

著作権の関係上、開示しない。

令和5年度（2023年度）

三重大学大学院教育学研究科
専門職学位課程 教職実践高度化専攻
入学試験問題（B日程）

学部新卒者等

筆記試験（小論文）

令和4年（2022年）11月3日（木） 試験時間：9：00～10：30

注意

1. 指示があるまで冊子を開かないでください。
2. この冊子は、表紙、問題用紙・解答用紙を含めて5枚です。試験開始後ただちに落丁、乱丁等の有無を確認し、異常がある場合には監督者に申し出てください。
3. 受験番号は、解答用紙上のそれぞれ指定された箇所に必ず記入してください。
4. 試験開始から試験終了までは、試験室からの退室を認めません。試験中の体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。
5. 解答用紙、問題用紙の両方を回収しますので、持ち帰らないでください。
6. その他、解答にあたっては、監督者の指示に従ってください。

問1

次に示すのは、中学校教師として優れた教育実践を多く遺した大村はま（1906-2005）の言葉である。

著作権の関係上、開示しない。

大村の言うように教師が「渡し守り」であるならば、教師は児童・生徒が「自分の道をどんどん開拓して」行けるように、どのような資質・能力を育む必要があると考えますか。分野・教科等の指導内容を具体的に取り上げ、理由も合わせてあなたの考えを600字程度で述べなさい。

問2

中央教育審議会は「社会に開かれた教育課程」の実現に関し、『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）』（平成28年12月）において、下記の通り記している。

著作権の関係上、開示しない。

出典：文部科学省『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）』より一部抜粋

このことを踏まえ、あなたは「現実の社会との関わりの中で子供たち一人一人の豊かな学びを実現していく」ために、教師という立場でどのように取り組むか構想しなさい。なお、対象とする校種を設定し、構想した取り組みの具体的内容およびその教育的意図を600字程度で述べなさい。